

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

お客様のSDGs・ESG取り組みをサポート

「京銀サステナビリティ経営サポート」の
取り組みについて

京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、取引先のSDGs・ESG経営支援サービスのひとつとして、「京銀サステナビリティ経営サポート」を行っております。今般、本サービスを活用したお客様のサステナビリティ経営方針が策定されましたのでお知らせいたします。

なお、本件は「京銀サステナビリティ経営サポート」の第1号案件です。

本サービスは、お客様のSDGs・ESGの取り組みを経営戦略に組み込むことを促進するもので、お客様の経営理念、経営資源のほか、外部環境も踏まえたマテリアリティ（重要課題）を設定し、経営方針策定をサポートします。

当行は、今後も、取引先のSDGs・ESG経営をサポートし、お客様のさらなる発展と持続性のある地域社会の実現を目指してまいります。

記

企業の概要（敬称略）

企業名	ケイコン株式会社
所在地	京都市伏見区淀本町225
代表者	荒川 崇
事業内容	コンクリート製品の設計・施工・製造販売、総合建設業
サステナビリティ 経営方針 【詳細は別紙】	1. 「NET ZERO 2035」の実現 2. 誠実なものづくりと技術革新への挑戦 3. ウェルビーイング経営の実践

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。



ケイコン株式会社 サステナビリティ経営方針

重要課題

取組方針

数値・SDGs目標

1. 「NET ZERO 2035」の実現

- CO₂排出量を削減するコンクリート技術の開発ならびに活用
- 事業活動における温室効果ガス排出量削減（スコープ1～3）
- 脱炭素活動による企業ブランディング

2035年9月までに
温室効果ガス排出量
（スコープ1～3）

2024年12月までに
2030年度までに
製造工程における
廃棄物

実質100%削減

SBT認定取得

50%削減
（2021年度比）



**持続可能な
社会の実現**

2. 誠実なものづくりと 技術革新への挑戦

- 製品の長寿命化を通じた環境負荷の低減
- 製造設備や施工機械などの設備投資による能率化・効率化
- 気候変動による災害に適応した製品の提供を通じた安心・安全なまちづくりへの貢献

2030年度までに
全工場の製造工程における
機械化率

2030年度までに
コンクリート連続打設工法の
ICT技術実施率

2030年度までに
ICT技術を用いた
製品自動据付工法の実施率

2030年度までに
災害に適応した製品売上

**長寿命（100年）
コンクリート製品の
設計・製造技術を確立**

15%引き上げ
（2021年度比）

50%引き上げ
（2021年度比）

20%導入

150%に引き上げ
（2021年度比）



3. ウェルビーイング経営の 実践

- 働きやすい職場づくり
- 社員の健康増進への取組強化
- 相互成長に向けた人財育成の取組強化
- 受注機会増加と業務効率化に向けた情報・基幹システム構築

2030年度までに
休業災害

2030年度までに
奨励資格の新規取得

2030年度までに
入社後5～10年目における
社員の定着率

2030年度までに
労働生産性
（1人あたり粗利益）

**健康経営優良法人
（ブライツ500）
認定取得**

年間0件

150件

15%引き上げ
（2021年度比）

110%に引き上げ
（2021年度比）



経営者メッセージ

建設業界においても労働人口が急減するなか、より一層、工事現場における生産性向上と製品の高性能化・高耐久化を図ることで、未来の社会基盤の形成、ひいては我が国の発展に貢献してまいります。また、脱炭素社会を商機と捉えた持続可能な事業への移行と、継続的な雇用や取引を実現することで、ステークホルダーの期待に応えてまいります。とりわけ当社社員については、事業の成否を握る存在であり、多様な社員の物心両面の満足を追求することで、事業の躍進と経営の安定を図ってまいります。

経営理念

全社員の
物心満足を追求
社業を通じて
社会に貢献

社訓

和合と進歩
努力と発明
至誠と実行

ビジョン

NET ZERO 2035
次世代の人財育成
強固な供給網の確立

企業理念